

**Citation:** Avenell A, Handoll HHG. Nutritional supplementation for hip fracture aftercare in older people. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2010, Issue 1. Art. No.: CD001880. DOI: 10.1002/14651858.CD001880.pub5.

**CRG名:** Bone, Joint and Muscle Trauma

### [最新版\(英語版\)はこちら](#)

**英語版最終改訂年月:** 28 February 2009

**Clib issue No.;** N/U: 2010 issue 1, Update

**背景:** 大腿骨近位部骨折のある高齢者は骨折時に栄養不良の状態である場合が多く、その後の摂食も不良である。

**目的:** 高齢者の大腿骨近位部骨折後の回復期の栄養介入の効果をレビューする。

**検索戦略:** Cochrane Bone, Joint and Muscle Trauma Group Specialised Register(2008年9月)、Cochrane Central Register of Controlled Trials(コクラン・ライブラリ2008年第3号)、MEDLINE、その他の主要なデータベース(~2008年7月)を検索した。

**選択基準:** 大腿骨近位部骨折のある65歳を超える人を対象とした栄養介入に関するランダム化比較試験および準ランダム化比較試験。

**データ収集と分析:** 2名のレビューアが独自に試験を選択し、データを抽出し、試験の質を評価した。主要アウトカムについてデータを統合した。

**主な結果:** 1,940例の参加者を対象とした24件のランダム化試験を含めた。アウトカムデータは限られており、多くの試験は方法論的に欠陥があった。今回、23件の試験から得られた結果を提示する。

10件の試験は、非タンパクエネルギー、タンパク質、幾つかのビタミン、ミネラル類を含む複合栄養素(multinutrient)の経口栄養を評価していた。死亡率(244例中16例対226例中21例、リスク比(RR)0.76、95%信頼区間(CI)0.42~1.37)や「望ましくないアウトカム」(死亡および合併症のある生存者からなる統合アウトカム)(126例中46例対103例中41例、RR0.76、95%CI 0.55~1.04)に対して統計学的に有意な経口栄養による効果は認められなかった。

複合栄養素の経鼻胃管栄養を検討している4件の異質な試験から、死亡率に及ぼす効果についてのエビデンスは見いだせなかった(RR 0.99、95%CI 0.50~1.97)。経鼻胃管栄養の忍容性は不良であった。

経鼻胃管栄養後に経口栄養について検討している1件の試験からも死亡率や合併症に及ぼす効果に関するエビデンスは認められなかった。

複合栄養素の静脈内栄養補給後に経口補給剤について検討している1件の試験では、合併症のある参加者に減少を認めたが(RR 0.21、95%CI 0.10~0.46)、死亡率の減少は認められなかった(RR0.11、95%CI 0.01~2.00)。

経口栄養時のタンパク質摂取量の増加を検証している4件の試験では、死亡率に及ぼす効果についてのエビデンスは認められなかった(RR 1.42、95%CI 0.85~2.37)。タンパク質の補給によって長期的な合併症の数が減少していた可能性がある。

ビタミンB1とその他の水溶性ビタミンの静脈内補給、または1 $\alpha$ -ヒドロキシコレカルシフェロール(ビタミンD)の経口補給をそれぞれ検証している2件の試験から、効果に関するエビデンスは得られなかった。

Copyright(c) All rights reserved by Minds, Japan Council for Quality Health Care  
摂食を助ける食事介助者を評価している1件の試験から、死亡率に及ぼす統計学的に有意な効果は示されていなかった(RR 0.57、99% CI 0.29~1.11)。

**レビューアの結論:** タンパク質およびエネルギーの補給の有効性について弱いエビデンスがある。頑健な方法論のある適切な標本サイズのランダム化試験が必要である。特に、食事介助者の役割および末梢静脈栄養補給についてさらに評価する必要がある。

(監訳 林 啓一)

翻訳公開日: 10年4月15日

ご注意: この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点がありましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年4回改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。